

# 第21回常任理事会

日 時場 所出席者

令和2年1月14日(火) 18:30~18:51 北海道医師会館9階・理事会室

長瀬会長、深澤・藤原・佐古各副会長、 北野・三戸・目黒・藤井・橋本・山科・ 岡部・伊藤・生駒・笹本・櫻井・青木・ 荒木各常任理事、藤瀬・篠島・外園各監事 (事務局:安達事務局長ほか11名)

#### 協議事項

## 第1号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する 件(櫻井常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座19件を承認することと決定。

#### 報告事項

#### 1. 日医理事会報告(長瀬会長)

令和元年度日本医師会会員数調査の件、日本医師会医師賠償責任保険制度への医療通訳サービスの付帯の件、第8回「日本医師会赤ひげ大賞」選考会の結果の件等の報告があった。また事前の理事打合会において、「薬機法改正を望む」について、救急医療に対する特別交付税制度について、北海道議会新庁舎並びに道庁本庁舎敷地内全面禁煙を求める署名活動について等の意見交換を行った。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。

# 第22回常任理事会

日 時 場 所 出席者 令和 2 年 1 月 28 日 (火)  $18:00 \sim 20:06$  北海道医師会館 9 階・理事会室

長瀬会長、深澤・藤原・佐古各副会長、 北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・ 山科・岡部・伊藤・生駒・笹本・櫻井・ 青木・荒木各常任理事、藤瀬・篠島・外 園各監事

(事務局:安達事務局長ほか11名)

#### 協議事項

#### 第1号 令和2年度事業計画に関する件(深澤副会長)

令和2年度の事業計画(案)を承認し、次回理事会 に諮り、第156回臨時代議員会に報告することと決定。 第2号 令和2年度予算に関する件(目黒常任理事) 令和2年度の予算(案)を承認し、次回理事会に 諮り、第156回臨時代議員会に報告することと決定。

第3号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する 件(牛駒常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座15件を承認することと決定。

# 第4号 日本医師会生涯教育講座「実施要領」一部 改正に関する件(生駒常任理事)

日医新システムの導入により、各郡市医師会においても会員の受講履歴の閲覧が可能になったことから、その実態に合わせた対応を図るため、実施要領の一部文言を修正することを承認し、次回理事会に諮ることと決定。

#### 第5号 その他

## (1) 2月行事予定に関する件(事務局) 報告事項

# 1. 保険医療医師研修会 [令和元年度] について (伊藤常任理事)

帯広市、江差町、旭川市、北広島市の4地区7医 師会を対象に開催。今年度も北海道厚生局・佐野指 導医療官を講師としてお招きし、保険診療上のルー ルと指導・監査について、カルテ記載の重要性や個 別指導時によく指摘を受ける算定項目などについて 説明いただいた。また、平成31年1月に第2版を発 行した、適正な保険診療のてびきをテキストとして 使用したことから、監修いただいた伊藤一輔医師を 講師としてお招きし、保険診療上の留意事項として、 検査・投薬処置等における審査上の取り扱いや注意 点について具体的事例を交えて解説がなされた。会 場からは、「個別指導時の注意点を現職の指導医療 官から聞くことで、大変勉強になった」、「具体的な 審査上の留意点を聞くことで、算定時のポイントが 理解できた」などの声があった。出席者は延べ317 名であった。

# 2. 都道府県医師会長協議会 [1月21日(火)] について(深澤副会長)

各医師会ならびに日医より提出された10題について、協議がなされた。医師の働き方改革における副業・兼業については、医療分野と一般労働者の差や国の検討状況について答弁がなされた。その他、厚生労働省の算出した医師偏在化指標は政策に用いるデータとして妥当であるか、有床診療所減少の歯止め対策等について協議がなされた。

3. 2020東京オリパラの成功を支援する北海道の会 / 2030冬季オリパラの招致を目指す北海道の会 第3回総会[1月24日(金)]について(長瀬会長) 東京2020大会に向け活動する上での、道内のサッ カー、競歩、マラソンの競技開催状況の説明と、今後の主な取組として、競技の運営・実施は組織委員会が担当し、開催支援・協力については北海道・札幌市が行い、その他に、おもてなし・機運醸成・魅力発信等、各団体がオール北海道でワンチームとなって取り組んでいくこととなった。

## 4. 北海道医療・福祉関係職能団体等意見交換会[1 月24日(金)]について(水谷常任理事)

医療・福祉関係に関わる職能団体に、それぞれの立場から発言いただき意見交換をすることを目的に、年2回開催している。今回は33団体68名が参集し、視能訓練士会北海道から「視能訓練士とは」をテーマに話題提供いただいた後、意見交換を行った。次回は今年7月頃に、北海道薬剤師会・北海道治療院薬剤師会・北海道栄養士会・北海道全調理師会で構成するグループの話題提供により開催予定。

#### 5. 日医理事会報告(長瀬会長)

日本専門医機構第21回理事会の件、中医協の件、 第72回社会保障審議会医療部会の件等の報告と、第 146回日本医師会臨時代議員会開催の件、台風19号 及び21号に対する支援金の件等につき協議した。ま た事前の理事打合会において、令和2年度診療報酬 改定での救急病院における勤務医の働き方改革への 特定的な対応について、地域医療構想における民間 医療機関データについて等の意見交換を行った。理 事会の詳細については日医ニュース等を参照された い。

#### 6. 日医各委員会報告

### (1) 第5回生涯教育推進委員会 [1月23日(木)] について(櫻井常任理事)

今年6月に答申予定の会長諮問「新しい世代に主眼を置いた生涯教育制度の円滑な運用と環境整備」について、日医生涯教育制度のモチベーションを図るため、新しい生涯教育制度の方向性、eラーニングの充実に向けた検討を行った。

#### 7. 外部各委員会報告

# (1) 北海道がん対策推進委員会 第2回がん検診 専門部会[1月21日(火)]について

(伊藤常任理事)

市町村がん検診の結果の把握方法に関する調査では、精検受診率を下げないよう十分な受診機会を提供する等の取組を行うことが重要であるとの意見があった。また、市町村がん検診をおりては、下の遵守状況調査では、膨大な検診結果を分析するため、AI導入の可能性が検討されているとの報告があった。精度管理については、不必要な検査を避けて陽性反応的中度を上げる努力が必要であるとの意見があった。市町村がん検診のチェックリスト遵守や精度管理に関わる指導について協議を行い、2~3年連続で指導対象市町村となった自治体には、文書指導するだけではなく、原因を明確に把握する

努力を求めることとなった。

# (2) 北海道医療対策協議会 第4回地域医療を担 う医師の確保に関する検討委員会・第4回地域 枠医師キャリア形成支援検討委員会 [1月21日 (火)]について(佐古副会長)

医師偏在指標の確定値ならびにパブリックコメントの報告後、修正された医師確保計画素案を了承した。その後、地域枠制度についての特例的配置方法やその他見直し案についてそれぞれ承認した。なお、サブスペシャリティについては、取得基準等の状況に応じて今後も議論を重ねていくこととした。

# (3) 第1回北海道衛生検査所精度管理専門委員会 [1月21日(火)]について(北野常任理事)

委員長には小職が、副委員長には北海道大学病院・澁谷医療技術部長が互選された。平成30年度の衛生検査所立入検査実施結果等および外部精度管理調査(ブラインド調査)結果等について報告が行われた後、令和元年度の実施計画案、令和2年度からの実施方針について協議を行った。

# (4) 北海道障がい者施策推進審議会 [1月21日 (火)]について(藤原副会長)

第5期障がい福祉計画の平成30年度実績、医療的ケア児支援部会ならびに意思疎通支援部会の状況について報告があった。引き続き、障がい者基本計画と障がい福祉計画の統合や第6期障がい福祉計画の策定について協議の上、了承した。

# (5) 第2回北海道がん対策基金運営委員会[1月 22日(水)]について(藤原副会長)

令和元年度北海道がん対策基金の事業実績として、がん対策サポート企業が昨年より5企業増え、72企業等になったとの報告があった。また、収支決算見込みとして、収入は予算額とほぼ同額の見込みだが支出は50%程度に収まる見込みであることなどの報告があった。その後、令和2年度北海道がん対策基金助成金募集要領(案)、事業計画(案)および収支予算案(案)について協議の上、決定した。

# (6) 第2回北海道CDR連絡会[1月25日(土)] について(三戸常任理事)

チャイルド・デス・レビュー(CDR)開始に向け、厚生労働科学研究事業のモデル地域として本道が選定されたことに伴い、CDRに先駆的に取り組まれている多摩北部医療センター・小保内小児科部長を招き、CDRの意義の確認や各都道府県の進捗状況等の報告を受けた。その後、今後の検討事項やアンケートの実施方法等について協議を行った。また、多職種を交えた勉強会の開催準備を早急に進めることとなった。

#### 8. その他

# (1) 令和元年度の日医代議員対策費について (目黒常任理事)

令和元年度の交際費の中に、令和2年度予算 と同様に区分を設けたとの報告があった。

# 日医認定産業医制度研修会開催一覧

# ◇産業保健部◇

開催日時	開催場所	主なテーマおよび講師	単位数	連絡先
令和2年3月7日 (土) 14:00~17:00	北海道大学学術交流会館 (札幌市) 定員:200名 参加費:2,000円 ※日本産業衛生学会会員は無料 (事前に申し込みが必要です)	【第23回産業保健研修会】 ・歯科口腔疾患と働き方改革-定年70年時代を見据えて 日之出歯科診療所 先崎 秀夫 ・職域における糖尿病対策 札幌医科大学医学部公衆衛生学講座教授 大西 浩文 ・最近の労働衛生行政のトピックス 北海道労働局健康課長 本持 仁史	生涯研修 更新1・専門2	日本産業衛生学会 北海道地方会事務局 (0166-68-2402) http://jsoh-hokkaido. umin.jp/
令和2年4月15日 (水) 18:30~20:30	札幌市医師会館 定員:200名 参加費:1,000円 ※札幌市産業医協議会会員は無料 (事前の申し込みは不要です)	・最近の労働衛生行政について 一産業医に求められる活動の要点— 北海道労働局健康課長 本持 仁史	基礎研修 後期2 生涯研修 更新2 (日本医師会に申請中)	札幌市医師会 (011-611-4181)
<b>令和2年4月22日(水)</b> 18:30~20:30	岩見沢平安閣 (岩見沢市) 定員:40名 (事前に申し込みが必要です)	・産業医が知っておきたい有害業務の職場巡視 北海道労働保健管理協会産業保健部技術フェロー 相澤 和幸	生涯研修 専門1・実地1 (日本医師会に申請中)	北海道産業保健 総合支援センター (011-242-7701) 申込先はセンター HP
令和2年5月13日 (水) ※会場により開催時間が異なります	①イトムカ鉱業所 (北見市) ②㈱カンディハウス (旭川市) ③日本製紙㈱北海道工場 (旭川市) (事前に申し込みが必要です)	【第93回日本産業衛生学会 実地研修会】 ※研修概要、取得単位数、参加費、お申込み方法等につきましては、下記URLより学会ホームページにてご確認ください。 https://convention.jtbcom.co.jp/sanei93/index.html	各会場にて 生涯研修 実地2	株JTBコミュニケーションデザイン (06-4964-8869)
令和2年5月14日 (木) ~16日 (土)	①旭川市民文化会館 ②アートホテル旭川 (旭川市) (事前に申し込みが必要です)	【第93回日本産業衛生学会】 ※各演題、講師、取得単位数、参加費、お申込 しては、下記URLより学会ホームページにて https://convention.jtbcom.co.jp/sanei93/in	ご確認ください。	㈱JTBコミュニケーションデザイン (06-4964-8869)
令和2年5月17日(日) 9:30~15:30	イオンモール旭川駅前 (旭川市) 定員:200名 参加費 事前登録: 8,000円 当日登録:10,000円 (事前に申し込みが必要です)	【第93回日本産業衛生学会 特別研修会】 ・健康診断と事後措置 北海道労働保健管理協会札幌総合健診センター所長 原 俊之 ・職場の喫煙対策 JR札幌病院保健管理部長 佐藤 広和 ・これからの労働衛生行政の課題について考える 北海道労働局健康課長 本持 仁史 ・ストレスチェック制度への対応 旭川医科大学社会医学講座公衆衛生学・疫学分野教授 西條 泰明 ・第4次産業革命に対応する産業保健活動 旭川医科大学社会医学講座衛生学・健康科学)野教授 吉田 貴彦	生涯研修 更新1・専門4	(株JTBコミュニケーションデザイン (06-4964-8869) ※お申込みは下記URLより https://convention. jtbcom.co.jp/sanei93/ index.html

<sup>\*</sup>開催日が太字のものは、本号より新たに掲載されたものです。

注1:新規認定のためには、基礎研修50単位以上(前期研修14単位以上、実地研修10単位以上、後期研修26単位以上の合計 50単位以上)の 修得が必要です(前期研修については、総論2単位・健康管理2単位・メンタルヘルス対策1単位・健康保持増進1単位・作業環境管理2 単位・作業管理2単位・有害業務管理2単位・産業医活動の実際2単位のそれぞれの単位修得が必須)。

注2: 更新認定のためには、認定取得後の5年間に生涯研修20単位以上(更新研修、実地研修、専門研修各1単位以上の合計20単位以上)の 修得が必要です。